

氏 名	田所 潤子
学 位 の 種 類	博士（看護学）
学 位 記 番 号	甲第3号
学位授与年月日	2024年3月12日
学位授与の要件	関西国際大学大学院学則第35条
1. 論 文 題 目	先天性心疾患をもつ女性へのライフプランニング教育プログラムの開発
論文審査委員	（主査）関西国際大学 教授 高見沢恵美子 （副査）関西国際大学 教授 中島 通子 （副査）関西国際大学 教授 岡光 京子

〔論文審査の結果の要旨〕

第1次研究で先天性心疾患(以下 ACHD)をもつ女性が妊娠・出産に関して受けてきた情報提供および希望する情報を明らかにしている。1次研究の結果と文献検討に基づいて作成した ACHD 女性のライフプランニング教育プログラムについて、医師3名助産師10名からスーパーバイズを受け内容が妥当であるか検討し暫定版プログラム動画を作成している。第2次研究で暫定版プログラムを視聴した ACHD 女性を対象に、プログラムの有用性ならびにプログラムを適用する対象層を検討した上で、プログラムの運用方法・教材等を修正し実践的に教育プログラムを開発した研究である。

第1次研究は ACHD をもつ女性が妊娠・出産に関して受けてきた情報提供および希望する情報を明らかにするために、患者会に所属する ACHD 成人女性7名を対象に半構造化面接調査を行い、面接内容を質的帰納的に分析している。カテゴリー化された妊娠・出産についてこれまで受けてきた情報提供は、結婚を意識したタイミング、手術を機になどの情報提供を受けた時期、自ら調べた等の内容であり、希望する情報はより具体的に聞きたかった、情報の入手方法等であった。

第2次研究では作成した暫定版プログラム動画を視聴した ACHD 女性98名を対象に、教材の適切さ、ボリューム、満足感等の有用性ならびに適切な対象層を明らかにするためのヘルスリテラシー尺度についての構成的質問とプログラムに対する自由回答式質問を用い Google Form で質問紙調査を実施している。記述統計と質的分析の結果プログラム内容はおおむね適切で満足感が高く、視覚効果、表現およびパートナーへの意識等について修正が必要であると考えられた。Logistic 回帰分析の結果、ヘルスリテラシーが有意に高い25-29歳の性交経験がある女性が本プログラムによりリプロダクティブヘルスに関する意識を高めやすいと考えられた。

第2次研究に基づきプログラムの運用方法・教材等を修正した有用な実践的研究である。